

2009年度 日本文化人類学会 第1回 評議員会 議事録

日時：2009年5月30日（土） 11:00～13:00

会場：大阪国際交流センター 3階「銀杏」

<出席者>

山本真鳥、石毛直道、上杉富之、内堀基光、太田好信、鏡味治也、春日直樹、岸上伸啓、葛野浩昭、窪田幸子、栗田博之、桑山敬己、小泉潤二、坂井信三、佐々木史郎、菅原和孝、須藤健一、瀬川昌久、関根久雄、関根康正、関本照夫、鷹木恵子、波平恵美子、名和克郎、西川麦子、沼崎一郎、松岡悦子、松田素二、吉岡政徳、吉野晃、渡邊欣雄

<委任状提出>

赤堀雅幸、伊藤亞人、伊藤眞、稲村哲也、大貫良夫、笠原政治、クネヒト、ペトロ、小松和彦、小馬徹、田中雅一、古谷嘉章、山下晋司

<欠席者>

岡崎彰、小野澤正喜、和崎春日

議長：沼崎一郎

〔議題〕

- 2008年度事業報告について
 - 上杉庶務担当理事より別紙に基づき報告があり、審議の結果、承認された。
- 2008年度会計報告について
 - 葛野庶務担当理事より別紙に基づき報告があり、審議の結果、予算の補正も含め承認された。
 - また、監査の際に監事より、将来計画基金の中の「波平基金」について有意義な使途を検討して欲しいとの意見が付されたことが報告された。
- 2009年度事業計画について
 - 上杉庶務担当理事より別紙に基づき報告があり、審議の結果、承認された。
- 2009年度予算について
 - 葛野会計担当理事より別紙に基づき報告があり、審議の結果、承認された。
- 名誉会員候補者の推薦について
 - 上杉庶務担当理事より、名誉会員に関する内規に基づき、青木保、松園万亀雄の二氏を名誉会員として総会に推薦することが提案され、審議の結果、承認された。
- 日本文化人類学会名誉会員に関する内規の改正について
 - 上杉庶務担当理事より、日本文化人類学会名誉会員に関する内規の改正提案があり、審議の結果、2009年5月30日付で改正が承認された。変更箇所は以下の通り。

(変更前)

第二条 以下の二項目を満たす者を名誉会員の候補資格者とする。

- 1) 当該年度の4月1日現在で満70歳以上の者
- 2) その前年度までに、学会会長職を務めた者、もしくは理事職5期以上を務めた者

2. 前項の規定によらず、とくに理事会が名誉会員とするにふさわしいと認めた者

に関しては、候補資格者とする。

(変更後)

第二条 当該年度の4月1日現在満70歳以上の者で、その前年度までに以下の項目の一つ以上を満たす者を名誉会員の候補資格者とする。

- 1) 学会会長職を務めた者
- 2) 学会理事職を5期以上務めた者
- 3) 日本文化人類学会賞を受賞した者

2. 前項の規定によらず、とくに理事会が名誉会員とするにふさわしいと認めた者に関しては、候補資格者とする。

7. 研究大会運営に関する提案について

- ・ 栗田総務担当理事より、研究大会運営検討委員会に関し、委員長の犬塚理事の入院中は山本会長が委員長代行を務め、栗田理事が新しく委員に加わったこと、犬塚理事の逝去に伴い今後は栗田理事が委員長を務めることが報告された。
- ・ 研究大会運営検討委員会委員長の栗田総務担当理事より、研究大会運営について資料に基づき提案があり、審議の結果、以下の三点を総会に提案することが承認された。
 - 1) 研究大会開催校は、従来からの口頭での個人発表・分科会発表のほかに、新たな形式として「ポスター発表」を導入することができる。
 - 2) 研究大会における研究発表の水準を一定以上に保つために、査読制を導入する。査読委員会は理事会の下に置く。
 - 3) 原則として、個人発表、分科会発表、ポスター発表を通じて、一人が発表出来る件数は1件とする。

8. その他

- ・ 上杉庶務担当理事より、犬塚和夫理事の逝去に伴い、日本文化人類学会会則第11条第4項に基づき、第23期理事選出の際に次点であった評議員2名を対象に理事の補充選を5月11日に事務局で実施し、その結果を受けて、山本会長が関根久雄氏を新理事に選任したことが報告された。
- ・ 上杉庶務担当理事より、海外在住の会員、及び日本国内での支払いが不可能な会員に限り、PayPalを使用した決済を試験的に導入することが報告された。
- ・ 山本会長より、新型インフルエンザの感染拡大に伴う懇親会の中止と参加者の減少により研究大会運営費が不足する見込みであること、不足分補填のために会場にて大会参加者から寄付を募ることが報告された。引き続き、山本会長より、最終的な不足分は学会会計の予備費から補填すること、補填額と費目については理事会に一任して欲しい旨の提案があり、審議の結果、総会に提案することが承認された。

以上